

令和7年度 第1回 イベントディレクタ認定試験 講評

1. 実施概要

- ・ 実施期日 令和7年9月10日～20日
- ・ 単一選択式
- ・ 受検者 4名
- ・ 認定者 3名

2. 認定点

- ・ 認定点 80点（100点満点）
- ・ 最高点 96点
- ・ 平均点 83点

3. 総評

回答にあたっては、規則やガイドラインを正しく理解していることが求められる。競技規則や地図図式は継続的に改正が行われているので、EDは常に知識を更新することを心掛けなければならないが、学習教材や競技規則を読みこんでおらず、経験則だけで判断しているのではないかとと思われる受検者もいた。また、毎回の試験において、誤答の多い設問は傾向が類似しているため、過去の試験の講評も勉強の参考にしてもらいたい。

4. 設問のポイント解説

以下に誤答が2名以上の設問のポイントを列挙する。

設問 12：ブリテンは4まであり、公式掲示板に掲示するか文書を配布する方法で、現地で競技者に提供されなければならない。

設問 14：複数のクラスに同じコースを割り当てる場合、より時間のかかりそうなクラスを先に出走させると、あとからスタートするクラスの参加者が先にスタートした参加者に追いつきバンキング（いわゆるバック状態）が発生しやすくなり、公平性が低下する。

設問 30：地図から読み取れる情報までコントロール位置説明に記載する必要はない。また、計時上のスタート地点からオリエンテリングの開始地点（△）までの距離が数メートル程度の場合は、コントロール位置説明にその距離は記載しない（地図上でも誘導区間の破線は記載されない）。

設問 32：競技者を惑わすことのないよう、コントロールは一定以上の間隔をあけて設置する。

フォレスト競技では、直線距離で30m以上（同一特徴物や類似に見える特徴物では60m以上）

スプリント競技では、走行距離で25m以上、直線距離で15m以上

設問 37：競技者の自責によってスタートに遅刻した場合、スタート間隔の中程（1分間隔なら30秒くらいのところ）でスタートさせる。

設問 42：ほぼ同時にフィニッシュした場合、公式タイムは同じであったとしても、着順判定の係員または機器を配置して着順を決定する。また競技時間をオーバーした場合でも慣例的にはタイムを記録して成績表に記載することが多いが、正式にはタイムを記録しない。

設問 47：裁定委員会に当事者は出席できない。必要に応じて、イベントアドバイザーが当事者から聞き取りあるいは資料の提出を求めることはできる。